

## 東京未来大学リレーイベント企画 今井先生のQ&A

**Q：**子どもの創造性を高める声のかけ方や遊びの中で自己肯定感の高め方を学びたいです。

**A：**創造性や自己肯定感というと、昨今のトレンドは禁止言語の禁止です。「だめ」を使わず、「～してほしい」を使うことです。

ただ、僕も三歳の子どもの子育てしていますが、よく禁止言語を使っています。そんな時は、ダメというにしても、なぜダメなのかをきちんと伝えています。頭ごなしに否定しないようにしてください。

それから許可語などは良いこともあります。場合によっては自主性や自発性が損なわれて、指示待ち人間になってしまう可能性があります。例えば、休憩時間になっても、親が逐一許可を出さないと、子どもがトイレに行かないなど。理想は休憩時間であれば、子どもが自発的にトイレに行くことです。今が何の時間なのかを考えて行動できることが重要です。

**Q：**対話で人間力を育てるとのことですが、対話のコツも知りたいです。

**A：**言葉というより目くばせ、表情、アイコンタクトなど、「ノンバーバル」が重要かと思います。目は口程に物を言うと言われておりますが、その通りかと思えます。

あとは、子どもが話し始めたら聞いてあげること。話を途中で遮るような返答をしてしまうと、それだけで子どもは話す気がなくなってしまう。些細な点ですが、気を配ってあげてください。

**Q：**工作が大好きで、毎日いろんなものを使っていろんなものを作るのですが、作品自体がとても大雑把です。年齢的にも、もう少し細かい部分を丁寧に作るよう教えるべきか悩んでいます。

**Q：**家で自由に工作させていますが、本当に自由にしているので、大人にはなんだかわからない物ができあがります。もっと大人が教えてあげたほうがよいのか迷っています。

**A：**大切なのは対話をしながら楽しんでやることです。また、子どもがよく分からないものを作ったとしても、そこには子どもなりの物語があります。車を作ったのであれば、それに乗ってどこへ行きたい、といったような。それを深めてあげることが重要です。子どもの物語は、まさしく今しかできないことです。お人形、乗り物などを用いて、様々な物語の在る遊びを行います。この物語的思考は重要な力なのです。

**Q : YouTube などの自分の子どもの頃にはないものとの上手な付き合い方。**

A : ルールをしっかり決めることが大事かと思います。これを観たら終わりだとしっかり伝え、守れたらほめる。大事なのは親がコントロールすることです。

ちなみに、僕はスマホ育児を否定しません。電車の中で子どもが泣き出したとき、スマホを観て泣き止んでくれたら、それに越したことはないです。子どもは映像、動画が大好きですし、子どもが成長した世界は、Youtube に代わる「何か」があるかもしれません。私たちの知らない世界への適応という意味でも、Youtube、スマホを否定して過ごすことは、非現実的かと思います。

**Q : 初めての事に対する心のハードルを下げる声かけ、またはチャレンジしたくなる仕組みを教えて欲しいです。**

A : なんでもチャレンジする子、失敗を恐れてチャレンジをためらう子と、性格によって様々です。重要なのは、「失敗したっていいじゃない」、「頑張ったんだから恥ずかしいことじゃない」と丁寧に声をかけてあげることです。

子どもがチャレンジすることに慣れてきたら、一人でどんどん行動するようになります。最初の声掛けこそ丁寧にしてください。

**Q : 双子なので一人で同時に二人の相手ができずなかなか落ち着いて「対話」ができません。**

A : 実は今回の質問の中で一番頭を悩ませました。色々な本や資料を読みますが、双子の情報はありません。そこで、東京未来大学で双子の育児経験をもつ先生に相談したところ「双子は一方がしゃべったら、もう一方もしゃべりだそうと競い合うのが常。なので、もう一方が話だそうとするときに、きちんと待つように伝える。順番に一人ずつ話をきちんと聞くことが重要」とのことでした。

順番をまつ、今話すべきか、話さないかといった自制心、判断力も次第に身につけていくのではないのでしょうか。

**Q : 子供自ら絵を描いたり、物を作ったりがなかなかできないので、どの様にしたらやる気が出るのかを知りたい。(親にやらせようとばかりしてくるので)**

A : 大事なのは環境です。例えば、工作をしようというとき、同じ場所に Youtube の流れるモニターがあると、そちらに注意が向いてしまいます。そうならないよう、環境を整えて子どもを誘導することがとても大切です。環境さえ整っていれば、自然と工作などの遊びを行うかと思います。また、親御さんが子どもよりも先にモノを作って「何作ってるの〜？」を誘うのも有効かと思います。

Q : 「ママも一緒にやろうよー」 攻撃が嬉しくも、またかと疲れてしまうこともあり…、上手な対応も知れたら嬉しいです。

A : 色々な本で「叱ってはいけません」、「子どもの反応を大切にしましょう」とありますが、教科書通りにはいきません。子どもは大事ですが、親も大事です。親がストレスフルでは、子どもに良い影響は与えません。たまには断ってもいいと思います。それで子どもが親の愛情を疑うことはありません。また、ここまでしないと愛情が足りないという基準も絶対にありません。

親が前向きに、楽しくいることが子育ての前提かと思います。子供は親の姿を見て育つので、親が楽しそうにすることで良い雰囲気生まれると思います。